

高校生等への修学支援に関する参考資料(8)

平成29年12月

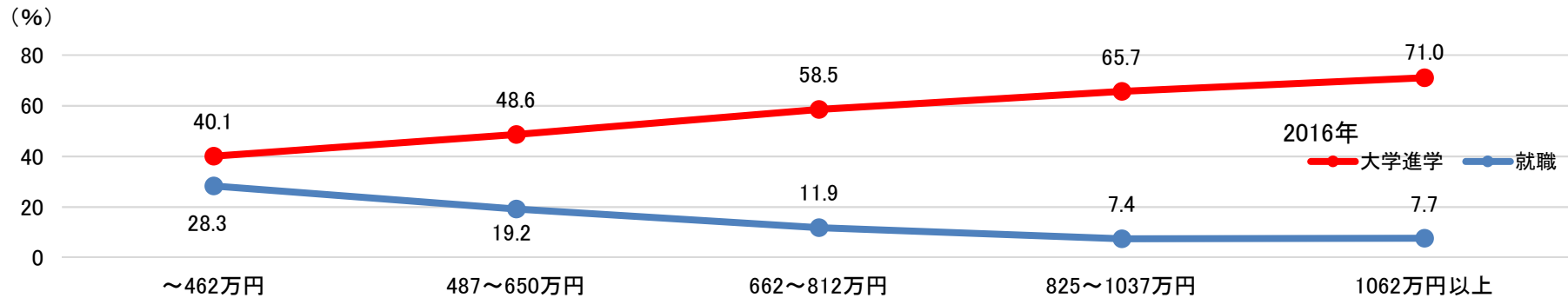
所得別の進学率、学歴別の生涯賃金

○所得の低い世帯ほど、大学進学率が低い。また、学歴により生涯賃金に大きな差が生じている。

<低所得世帯の大学への進学状況>

- 所得の低い世帯ほど、大学進学率が低い。
- (独)日本学生支援機構の調査(平成27年)では、住民税非課税世帯(世帯年収250万円未満程度)において、大学進学率は20%(全世帯平均52%)、高等教育進学率(大学、短大、高専、専門学校)は40%(全世帯平均80%)と推計。

※進学率の全世帯平均は、学校基本調査(平成28年)を基に文部科学省で算出。

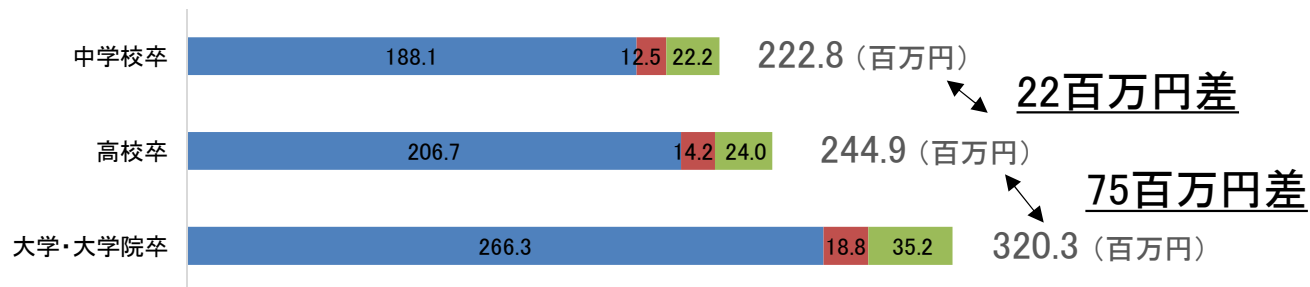


(出典)平成28年度文部科学省先導的・大学の改革推進委託事業「家庭の経済状況・社会状況に関する実態把握・分析及び学生等への経済的支援の在り方に関する調査研究」東京大学

<学歴別の生涯賃金差>

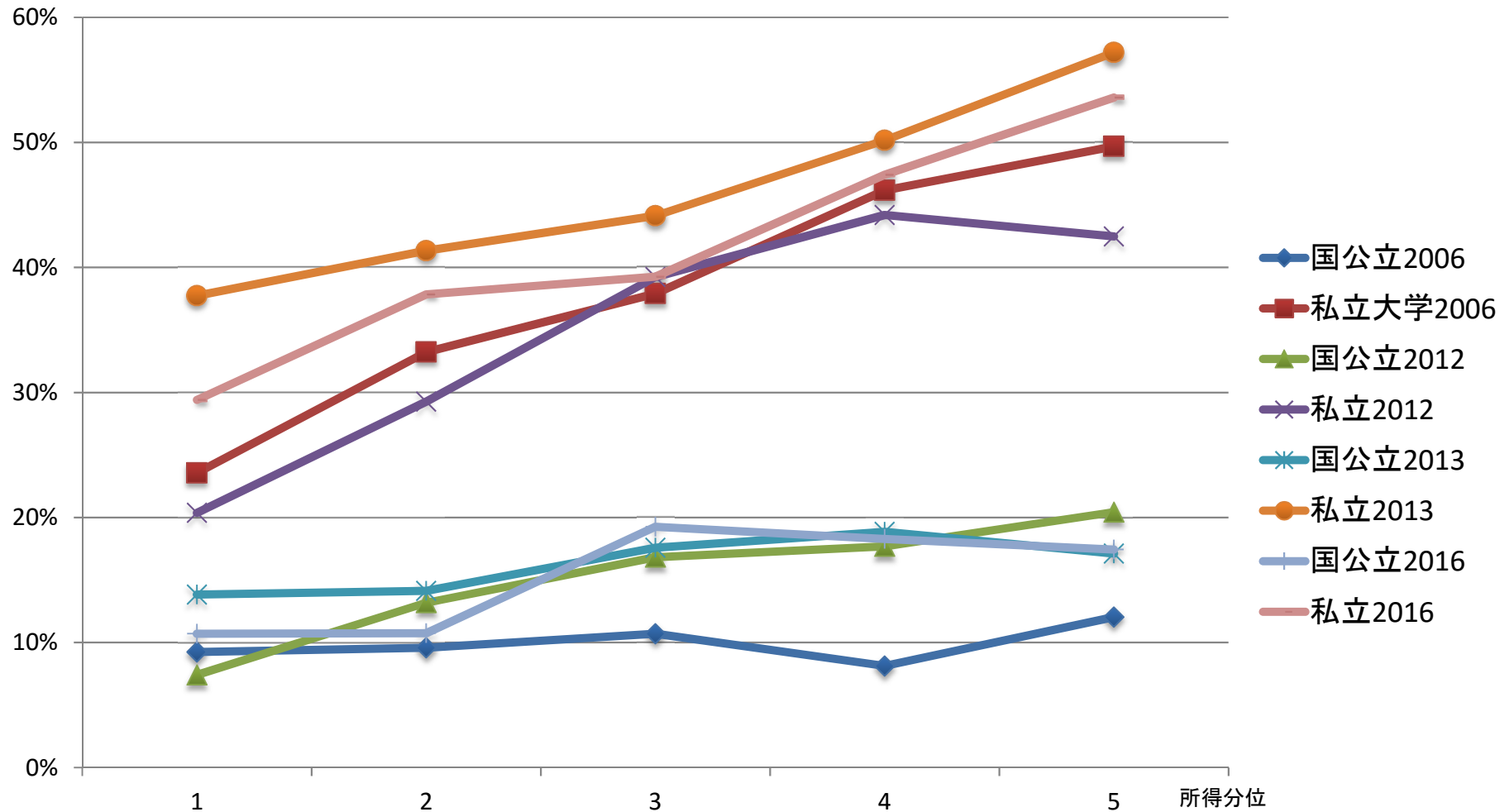
—学歴別生涯賃金— (男性、2014年)

■60歳まで ■退職金 ■それ以降



※(独)労働政策研究・研修機構調べ(平成28年)

所得階層別大学進学率(2016・2012・2013・2016年)



(出典) 2006年 高校生調査 平成17年度～平成21年度文部科学省学術創成科研「高等教育グランドデザイン策定のための基礎的調査」、金子元久研究代表
 2012年 平成23～26年度高卒者保護者調査 科研「教育費負担と学生に対する経済的支援のあり方に関する実証研究」、小林雅之研究代表
 2013年 高卒者保護者調査 平成26年度文部科学省先導的・大学改革推進委託事業「高等教育機関への進学時の家計負担に関する調査研究」、東京大学
 2016年 高卒者保護者調査 平成28年度文部科学省先導的・大学改革推進委託事業「家庭の経済状況・社会状況に関する実態把握・分析及び学生等への経済的支援の在り方に関する調査研究」、東京大学